

今までの授業

1. 知識・技能の定着

- ・視覚的な理解を促進する工夫 テレビやその他の視聴覚機器を活用し、視覚的に訴えることで、知識の定着を図る。
- ・反復学習による定着 ワークブックや自作プリントなどを用いて、反復的な学習を通して知識の定着を促す。

2. 思考・判断・表現力の育成

- ・学びと生活を結びつける 授業の最後に感想や次回の目標を記述させることで、学習した技術を日常生活と結びつけられるようにする。
- ・思考力を養う学習過程 制作の過程に思考・判断を要する場面を意図的に設けることで、生活に役立つ思考力を養う。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- ・生徒の関心を引く題材選び 生徒の生活と関連性の高い題材を選定し、適切な課題を提示することで、学習への関心を高める。
- ・学習意欲の向上 提示された課題に対し、高い意欲を持って主体的に取り組む姿勢が見られる。



課題

1. 知識・技能の定着

- ・定期考査の結果を分析すると、知識や技能が定着していない生徒が引き続き見られる。
- ・技能指導を繰り返しているが、ミスが多い生徒が一定数おり、その技能向上をどう促すかが課題である。

2. 思考・判断・表現力の育成

- ・技術の仕組みに関する知識を活かし、改善策を「表現する」という学習経験が不足している。
- ・日常生活の中から、技術分野で学習する3分野（例：情報、栽培、材料加工など）の学習課題を見つける習慣づけが課題である。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- ・技術に関する様々なトピックを学習に取り入れているが、生徒個々の実態（知識・技能）に合った学習課題の選択が課題である。



授業改善の具体的な方策

【引き続き重点的に取り組むこと】

<全学年共通>

- ・学習過程の中に「協働的な学び」のプロセスを増やし、問題を見つけ改善策【課題】を自分の言葉で表現する機会を充実する。
- ・基礎技能の定着をめざし、自作の動画資料を充実し、クロムブックで配信する。

【授業の一部または全部を改善すること】

<1学年>

- ・自己の知識技能の課題が解決できるような手立てを、クロムブックを用いて用意し【例：CAD等】、必要に応じて自分で課題解決に生かせるようにする。
- ・課題のフィードバックをできるだけ早くして、自己の学習課題の解決に活かす。

<2学年>

- ・自己の知識技能の課題が解決できるような手立てを、クロムブックを用いて用意し【例：情報モラルの学習ページ等】、必要に応じて自分で課題解決に生かせるようにする。
- ・クロムブックを表現のツールとして使用した学習活動を積極的に取り入れる。

<3学年>

- ・生徒が、自分で自己の技術的・知識的な課題が解決できるような手立てを、クロムブックを用いて用意し、必要に応じて自分で課題解決に生かせるようにする。
- ・3年間の技術の学習を通して、自分の技術観が育成できるような学習過程を設定する。